

障害福祉分野の ICT 導入モデル事業における導入事例  
令和 5 年度（令和 4 年度からの繰越分）

社会福祉法人海望福祉会  
障害者支援施設ひびき

1. ICT 機器の製品名

- ・無線機 Bluetooth 対応（インカム） 12 台
- ・ワイヤレスイヤホンマイク 12 個
- ・耳掛けイヤホンマイク 30 個

2. ICT 機器導入前の課題

施設内でインカムを使用しているが、バッテリーが1日ももたず使用出来なかったり、イヤホンが断線したりと劣化が進んでいる状態である。バッテリーの劣化により使用出来ないインカムもあり、職員全体にいきわたらない現状も発生し、情報の連絡・共有に不備が出始めている。

3. ICT 機器導入の推進方法

職員に行きわたるインカムの台数を確保

4. ICT 機器導入後の成果

①業務効率化について

職員が、どの利用者様の介助を行っているかがわからず確認のために職員に聞きに行くなどの業務の無駄が発生していた。インカムを使用する事により、誰が、何の介助を終えたのかを共有できるため次の業務へ効率よく移る事が出来るようになった。

また、インカムを使用し職員全体へ介助方法などをアナウンスできるようになり業務の漏れがなくなり事故などのリスクも軽減できている。

②職員の負担軽減について

インカムを職員全員が所持することにより、利用者様の介助を2人で行う際も近くにいる職員がすぐに介助に入る事が出来るようになった。そのことにより、1人での介助は無くなり介助による身体的な負担は減少している。

5. 今後の課題

インカムを導入しただけではなく、しっかりと活用し、インカムを使って情報をどのように伝達・共有できるかが課題である。少しの内容でも、インカムを使用し職員全体が同じ内容の情報を共有できるように取り組んでいきたい。